



図書館だより



読書の秋には本を読もう！

新刊案内

11月もなかばになりました。秋もたけなわ、町中の木々が色鮮やかに紅葉しています。空気もすっきりしていて毎日さわやか。そんな時はなんだか頭の中もクリアになり、読書したいという気持ちになりませんか？…なるよね？今月号は、そんなあなたにおくる図書情報が満載！！

また、文芸部長3-3滝澤君にも一冊本を推薦して頂きました。

読書の秋…ぜひ図書館へ来館して、本の世界にゆっくり浸ってみてください☆



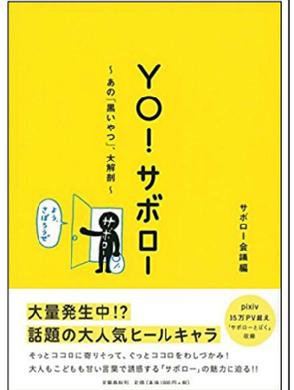
「人間のように考えるコンピュータ」の実現へ。知能とは、人間とは何かを問い直す。



世界中のあいさつことばが生き生きとした子どもたちの写真とともに紹介されています。



現役獣医さんが教えてくれる動物にまつわるオモシロ話が満載のコミックエッセイ。



CMでおなじみのヒーロー。でも憎めないんだなあ。読むと思わずイルイルでくすりと笑えます。



各地で起きる奇妙な誘拐事件。植物人間を覚醒させる者の噂。一見何の関係もないような二つの事件の陰でひとつの名前が囁かれる。ハヤブサと…。現実でも起きそうなリアルな物語。



およそ300種類の職種をフアンタジー風イラストや世界観を取り入れて紹介。年代別平均給料・給与、仕事内容、仕事の働き方など、有用な情報を掲載。

1-5図書委員 本田君推薦！

～秋に読むならこんな本をご紹介します！



11月7日、水曜日。女子大生の藍は、秋のその一日を何度も繰り返している。毎日同じ講義、同じ会話をする友人。朝になればすべてリセットされ、再び11月7日が始まる。なぜ繰り返しているのか。この繰り返しの日々には終わりは訪れるのか…。まるで童話のようなモチーフと、透明感あふれる文体が心地良く、読み進んでいくと、思いもかけない結末が待っている。

11月7日、水曜日。女子大生の藍は、秋のその一日を何度も繰り返している。毎日同じ講義、同じ会話をする友人。朝になればすべてリセットされ、再び11月7日が始まる。なぜ繰り返しているのか。この繰り返しの日々には終わりは訪れるのか…。まるで童話のようなモチーフと、透明感あふれる文体が心地良く、読み進んでいくと、思いもかけない結末が待っている。



勝利を、信じる。埼玉県行田市にある「こはぜ屋」は、百年の歴史を有する老舗の足袋業者。しかし現在は零細企業でギリ貧。そんななか、長年培ってきた足袋作りのノウハウを生かしランニングシューズを開発することに…。日曜夜にドラマが放映されていて今まさに「旬」の原作本。ドラマの先読みがしたい方はぜひ読んでみてください。いちいちグッとくること間違いなし！

勝利を、信じる。埼玉県行田市にある「こはぜ屋」は、百年の歴史を有する老舗の足袋業者。しかし現在は零細企業でギリ貧。そんななか、長年培ってきた足袋作りのノウハウを生かしランニングシューズを開発することに…。日曜夜にドラマが放映されていて今まさに「旬」の原作本。ドラマの先読みがしたい方はぜひ読んでみてください。いちいちグッとくること間違いなし！

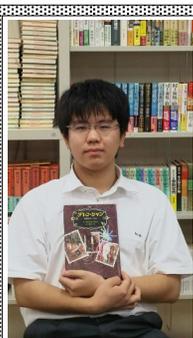


春に芽吹いた植物が、夏に花を咲かせ、秋には実を結びます。そんな秋には来春芽吹くため種子たちのドラマがあるのです。本書には、風に乗ったり波に乗ったり、動物につかまったりと巧みな技を駆使して旅をするタネたちが登場。タネたちの驚くような旅の知恵に、人間の私たちも脱帽です。

春に芽吹いた植物が、夏に花を咲かせ、秋には実を結びます。そんな秋には来春芽吹くため種子たちのドラマがあるのです。本書には、風に乗ったり波に乗ったり、動物につかまったりと巧みな技を駆使して旅をするタネたちが登場。タネたちの驚くような旅の知恵に、人間の私たちも脱帽です。



三の三 滝澤空也君



『ダレン・シャン～奇怪なサーカス』

ダレン・シャン著

「Can has nine lives.」というイギリスのことわざを知っていますか？「好奇心は猫を殺す」「9つの命を持つ猫ですら持ち前の好奇心が原因で命を落とす事がある」という意味です。この作品の主人公ダレン・シャンは、「シルグド・ブリーク」という異形のサーカスに興味を持ちます。このサーカスに対する好奇心が、彼(猫)を殺すことになるとも知らずに…。「ダレン・シャン」が本当に存在し、彼の経験談を語るように書かれています。なぜそう書かれているかは、最終巻を読めば分かります。小学生の時に会ったこの長編小説は、高校生となった今でも読むたびに新たな発見があります。読めば、あなたもダレン・シャンの世界に引き込まれ、気がついたら全12冊を読破してしまうでしょう。

1年の時から文芸部員としてその名を轟かせる一方、図書委員としても大活躍。今年も惜しくも図書委員は抜けたものの、何かと委員会をバックアップしてくれる強い味方。文芸部は、6名で、水・金曜日の放課後、第2ゼミ室で活動中。部員募集中。